※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | ３２２ |
|---|---|

# 令和５年度　情報科

| 教科 | 情報 | 科目 | 情報Ⅰ | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次（普通科） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「高校情報Ⅰ　JavaScript」　（実教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | ３０時間でマスター　Office2016　（実教出版） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「情報 I」は座学と実技科目です。実践的で体験的な学習が中心となります。コンピュータやネットワーク・プログラミングの仕組みが社会の実生活でどのようにシステム化されているかについて実践的に学び、機械への理解を深め、よりよい社会の貢献を目指します。
・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて、自分の考えを表現し、分かりやすく発信できる態度を身に付けましょう。
・コンピュータを使った課題作成が中心です。タイピングの練習をしっかりと行いましょう。

## ２　学習の到達目標

１．情報機器や IT 技術のしくみの基礎的知識・技能を習得する。
２．習得した知識・技能を活用し科学的に思考し、問題解決能力を育成する。
３．情報と情報技術を適切に活用し、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 情報と情報技術についての知識・技能、問題解決に向けた情報技術の活用方法を身に付ける。<br>情報に関する法規やマナーについて個人の果たす役割や責任を理解する。 | 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、さまざまな事象と情報の関係性を発見する。<br>情報技術を活用し、問題の発見・解決に向けて振り返りと発見を繰り返し、効果的に取り組む。 | 情報や情報技術を活用する上で、法規やマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティ確保しようとする情報モラルを踏まえ、主体的に情報社会に参画しようとする態度を養う。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 情報と情報社会 | オリエンテーション<br>情報と情報の特徴<br>メディアの特性 | a:情報の定義と情報が成す役割を理解する。また情報とメディアの関係性を知る<br>b:情報が実生活でもたらす利点と欠点について考える<br>c:情報を活用する上での留意点を理解しようとする | 定期考査<br>レポート | 定期考査<br>レポート | 実習課題 |
| | 問題解決 | 問題解決の思考<br>問題解決の手順<br>問題解決の手法 | a:問題解決に向けた手順や手法を理解する<br>b:情報や情報技術を活用し、効率的に解決できる方法を思考する。<br>c:グループでの役割分担や討論でより良い解決に取り組む | レポート | 授業課題 | 授業課題 |
| | 法規による安全 | 情報セキュリティ<br>情報の安全対策 | a:情報の取り扱い方法、セキュリティ技術について理解する<br>b:情報セキュリティを活用し情報の保護について思考する<br>c:より安全な対策を考え、情報漏洩などが起こらないために必要な資質を身に付ける | 定期考査<br>レポート | 定期考査<br>レポート | 実習課題 |
| | 個人情報 | 個人情報とプライバシー<br>個人情報の活用方法とその際の留意点 | a:個人情報とプライバシーについて保護する目的を理解する<br>b:侵害に当たる例と当たらない例を考えどのように情報機器を扱ううえで留意すべき点を考える<br>c:法規やマナー・モラルと向き合い適切な方法を使う | 定期考査<br>レポート | 定期考査<br>レポート | 実習課題 |
| 2学期 | 知的財産権と著作権 | 知的財産と産業財産の概念<br>著作権の概念<br>法規をもとに活用する | a:法規やルールを理解する<br>b:情報機器を扱う際はより留意がいることを考え、実際のあった事例をもとに深める<br>c:法規やルールを理解しようとする | 定期考査<br>レポート | 定期考査<br>レポート | 実習課題 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | コミュニケーション | コミュニケーションとメディア<br>メディアリテラシー | a:コミュニケーションの種類と形態について理解する。<br>b: コミュニケーションの形態が社会の発展とともにどのように変化してきたのか関係性を思考する<br>c:IT 技術を活用してコミュニケーションを行い、効果的なコミュンケーションの選択をする | 定期考査<br>レポート | 定期考査<br>レポート | 実習課題 |
| | 情報機器とディジタル情報 | コンピュータの構成<br>アナログとディジタル<br>数値と文字の表現<br>演算の仕組み<br>音画像の表現 | a:コンピュータの構成を学ぶとともに扱われるディジタル情報の特徴について理解する<br>b:ディジタル化されたデータがもたらす利点と課題点について考える。<br>c:ディジタル化の利点を生かしたシステム作りを思考する | 定期考査<br>レポート | 定期考査<br>レポート | 実習課題 |
| 3学期 | アルゴリズムとモデル | 統計データの分析<br>モデルとシミュレーション<br>問題解決の手順と手法<br>アルゴリズムの考え方<br>アルゴリズムの作成<br>プログラミングの基本 | a:データの収集から分析、整理までの手順を理解する。<br>b:既存の統計データからデータを分析し、情報を読み取る<br>c:読み取った情報をデータ化し新たな知識として作り上げる | 定期考査<br>レポート | 定期考査<br>レポート | 実習課題 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度